

令和四年度入学試験問題（学校推薦型選抜）

小 論 文

（中等教育教員養成課程 書道専攻）

注意事項

- 一 時間は六十分です。
- 二 解答は、すべて別紙解答紙の指定の箇所に記入してください。
- 三 解答紙には、必ず受験番号を記入してください。

〔一〕 日本の飛鳥時代から奈良時代における楷書の古名跡を、碑文から一つ、臨書から一つ、写経から一つあげて、その特徴や内容などを四百字以内で述べてください。

【二】 「書道Ⅰ」の授業で、「漢字の書」「仮名の書」を学んだ後に、「漢字仮名交じりの書」の作品を二つ制作することになりました。制作する言葉は、どちらもことわざで、次のとおりですが、用紙が違います。

① 「善は急げ」（善いことは、ためらわずにすぐに行えということ） ↓半紙

② 「人事を尽くして天命を待つ」（人の力でできることは全てやり尽くして、あとは運命に任せること） ↓色紙しきし

あなたなら、どのような作品を構想しますか。それぞれの作品制作の構想として、参考にする古典や、印象、表現上の工夫を、それぞれ二百字以内で述べてください。なお、学んだ古典は、次のとおりとします。

「九成宮醴泉銘」「牛橛造像記」「顔氏家廟碑」「雁塔聖教序」「蘭亭序」「争坐位文稿」「風信帖」「真草千字文」「曹全碑」
「高野切第三種」「継色紙」